

フレーザー・アンド・ニーヴ (FRNM)

主要地域セグメントのシンガポール・タイ・マレーシアは昨年
の新型コロナ対策緩和後、個人消費が堅調に推移。

シンガポール | ノンアルコール飲料 | 業績フォロー

BLOOMBERG FNN:SP | REUTERS FRNM.SI

- 2022/9期2Hは、売上高が前期比11.6%増、PBITが同2.0%減。マレーシアとタイを中心に行動規制緩和後のペントアップ需要が増収に貢献。
- 事業別では飲料事業が同38.5%増収、乳製品事業が同4.3%増収。地域別ではマレーシアが同23.1%増収、タイが同5.9%増収。
- マレーシアで乳製品、砂糖菓子製品に係る企業を買収。同社主要地域は新型コロナ対策緩和後の個人消費拡大で追い風加速が期待される。

What is the news?

11/10発表の2022/9期2H(4-9月)は、売上高が前年同期比11.6%増の9.93億SGD、利払い前・税引き前利益(PBIT)が同2.0%減の1.06億SGD、公正価値評価額や例外的項目を除く調整後純利益が同1.6%減の60.8百万SGDだった。粗利益率が同0.6ポイント上昇の29.6%と悪化も、2022年3月まで新型コロナに係る厳しい行動規制が続いたマレーシアおよびタイを中心に堅調な繰越(ペントアップ)需要を背景に食品・飲料部門の販売数量増加および販売価格引き上げが増収に寄与した。利益面では持株比率17.7%の関係会社ベトナム・ピナミルクからの持分法投資利益減少および通貨高の逆風が響いてPBITおよび調整後純利益は小幅減益だった。

2Hの主な事業セグメント別売上高は以下の通り。①飲料事業は前期比38.5%増の2.80億THB。特にマレーシアが同46%増と伸長した。②乳製品事業は同4.3%増の5.96億SGD。シンガポールが同8%減だった一方、マレーシアが同8%増、タイが同6%増だった。③印刷&出版事業は前期比横ばいの1.06億SGD。シンガポールとマレーシアは増収だった一方、タイおよびその他地域(主にベトナム)が減収だった。

2Hの地域セグメント別売上高は、①シンガポールが前期比2.9%増の2.11億SGD、②マレーシアが同23.1%増の3.79億SGD、③タイが同5.9%増の3.33億SGD、④その他地域が同11.5%増の68百万SGDだった。

How do we view this?

同社はマレーシア子会社を通じて乳製品の上流工程に携わるラダン・ペルマイ・ダマイ社、および砂糖菓子製品を製造するココアランドを買収。また、印刷&出版事業では子会社「Print Lab and Times Publishing Group」が生分解性かつ堆肥化可能なクラフト紙袋など持続可能な環境に資する製品を製造する20万フィートの工場をシンガポールで稼働開始。

2022年の株式市場年間騰落率は、米国S&P500株価指数が▲19%、日経平均株価が▲9%に対し、シンガポールのストレーツ・タイムズ指数が+4.1%、タイのバンコクSET指数が+0.7%、マレーシアのFTSEブルサ・マレーシアKLCI指数が▲4.6%と、同社の主要な地域セグメントは堅調に推移。タイやマレーシアでは昨年4月以降の新型コロナ対策の緩和で外国人観光客が増加したことを受けて個人消費も押し上げられていることから、同社の飲料事業や乳製品事業への追い風が続くと期待されよう。

業績推移

※参考レート 1SGD=99.11円

事業年度	2020/9	2021/9	2022/9	2023/9F	2024/9F
売上高(百万SGD)	1,833	1,879	2,003	-	-
当期利益(百万SGD)	149	140	124	-	-
EPS(SGD)	0.10	0.10	0.09	-	-
PER(倍)	12.70	12.70	14.11	-	-
BPS(SGD)	2.05	2.08	2.11	-	-
PBR(倍)	0.62	0.61	0.60	-	-
配当(SGD)	0.05	0.05	0.05	-	-
配当利回り(%)	3.94	3.94	3.94	-	-

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) - (予想はBloomberg)
 終値(SGD) 1.27 2023/1/20

会社概要

シンガポール拠点の飲料・食品大手企業。ジョン・フレーザーとデビッド・ニーヴが印刷事業で創業し、1883年に東南アジアで水事業を開始。ソフトドリンクから、ビールや乳製品、更には不動産開発・管理、出版・印刷事業に進出。2013年にアルコール飲料メーカーのタイ・ビバレッジを中核企業とするタイの華僑系財閥TCCグループによる買収に伴ってシンガポール取引所(SGX)での上場廃止後、不動産事業を切り離れた上で2014年にSGXに再上場。

シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナムを地理的セグメントとしている。

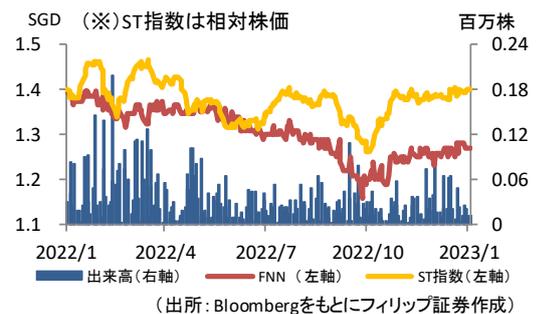
事業セグメントは、食品・飲料部門と出版・印刷部門から構成される。

①食品・飲料部門は、「100 Plus」や「F&N」のブランドで知られるソフトドリンク、「チャーン」ブランドのビール、「F&N MAGNOLIA」ブランドの乳製品・アイスクリームを取り扱う。ジュース、アイスクリームを製造・販売。

②出版・印刷部門は、出版の「Marshall Cavendish」、印刷の「Times Printers」および「Print Lab」、「Office & Schools Solutions」、書籍流通の「Times Distribution」および「Pansing」、書籍小売店の「Times bookstores」、玩具小売りの「Kaboom」などがある。

企業データ(2023/1/17)

ベータ値	0.55
時価総額(百万SGD)	1,976.2
企業価値=EV(百万SGD)	3,070.2
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	0.03



主要株主(2023/1)

1.TCC ASSETS LTD	55.15
2.IBIL	26.50
3.Hui Choon Kit	0.05

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。